



# あおぎり

須坂市立森上小学校学校だより  
R3.5.26 No.2 文責：校長 西澤真一



## 第80回 森上小学校運動会 (運動会ダイジェストをおとどけます)

前日までの激しい雨が幻だったかのような気持ちの良いお天気の中、節目の80回目となる森上小学校運動会が行われました。

**1年生**の玉入れは、赤白のそれぞれのチームが二つに分かれ、連続して入れ替わりながら球を投げ入れていく新しい方式で行いました。競技時間が長かったこともあり、勝ったチームはなんと60個を超える球がかごの中に入っていました。小学校で初めての運動会を楽しみました。

**2年生**は新種目の大玉ころがしです。2～3人のチームで赤白それぞれの大きな玉を転がします。一時は赤組と白組との間に1周回分も差がついていましたが、終盤にぐんぐん追いついて接戦となり見ごたえのある勝負となりました。大玉送りに負けない楽しさがあるなと思います。

**3年生**は学年リレーに挑戦しました。バトンも使っての本格仕様です。リレーといえばバトンパスが勝負を分けますが、どのチームも3年生なりのスムーズなパスができ、練習してきた成果が発揮されました。

**4年生**は、伝統的な衣装に身を包んでのよさこいソーランの演技です。現代的なソーラン節に乗せて、力強い踊りが披露されました。掛け声も大きく、演者のまとまりが感じられました。

**5年生と6年生**はフラッグを用いた演技です。大きな旗が揺れるたび、空気が震える大きな音がして、迫力があります。最後は全員が校庭のトラックに並び、輪になってのエンディング。青空高く突き上げる青と黄色のフラッグが美しかったです。

どの学年にもかけっこ(短距離走)があり、ゴールを目指して一生懸命走る姿はそれだけでも感動的です。開会式の音楽クラブによるファンファーレ、それぞれの競技の係活動、事前の準備など、みんなで一丸となった運動会となりました。運動会終了後、たくさんのお家の方に片づけを手伝っていただき、ありがとうございました。



## 5月の校長講話「あいさつ」

本年度の児童会では「あいさつ」が一つの大切な活動として位置付いています。私もそれを後押ししようと考え、5月の校長講話のテーマを「あいさつ」と決めお話ししました。

「あいさつ」は自分一人で行うものではなく、そこには必ず相手が存在します。それに気づいてもらうために「ルビンの壺（下絵）」を使ってお話をしました。



**黒く見えるのは外国の水を入れたりするツボの形をしていますね。ところが、白いところを見ると、向かい合う二人の人の姿が見えてきますよね。ツボだという人、人だという人どちらも正しい。もうちょっとというと、両方あってこの絵はできているんです。ただ、見方によって見えるものが違うということです。これは、私たち人の世界も同じで「あいさつ」もまた同じなんです。**

なぜこの話をするかという、昨年度、子どもたちからのアンケートで「自分はあいさつをしていると思う」という問いに対して、約 88%の子どもが「そう思う」と答えています。しかし、地域の皆様から頂くご意見の中に「挨拶がもっとできるといいですね」という声があります。せっかく頑張っているのに、相手に伝わっていないということを知ってほしかったのです。さらに、私の体験談を少しだけお話ししました。

**先生は高校から寮に入っていました。その寮母さんは、私に対していつもおこっているように見えました。ある時、忘れ物をして寮に帰ったときに、その寮母さんが「何やってんの！」とまた私を怒ります。その後の一言が強烈でした。「他の学生はみんな私にあいさつをするのに、西澤君はなぜできないの」と言うわけです。私の頭の中は「？」でいっぱいになりました。だって私は、おはようございます、ありがとうございます、こんにちは等、ちゃんとあいさつしていたと思っていたからです。あんまり悔しかったので、じゃあ何が足りないのかと考え、相手の顔を見ること、声を少し大きくすること、つまり相手に伝わるように心がけました。しばらく気を付けて生活していると、その寮母さんが気持ちよくあいさつできるようになったねと言ってくれました、怒られる回数も格段に減りました。あいさつって不思議ですね。何気ない一言で、人間関係さえも変わっちゃう。この絵のように、二つの関係が正しいものになったんですね。**

こんなお話をしてからしばらくたちますが、校内では以前よりも活発な挨拶の声が増えているように思います。先日の運動会が終わった後、校長室に入ろうとすると「校長先生、運動会お疲れさまでした」と楽器を片付けていた音楽クラブの子どもたちに声をかけられました。とても温かくうれしい気持ちになり、思わず私も「みんなもお疲れさま！」と返しました。



みなさまこんにちは。校長の西澤真一です。5月も後半となるのに肌寒く感じる陽気が続いております。依然として新型コロナウイルスの脅威を感じますが、それでも新年度が始まって約2カ月がたち、子どもたちも学校生活のリズムに慣れ、元気な声が校舎に響いています。例年より若干早い運動会も天候に恵まれ無事に行うことができました。力いっぱい頑張る姿は、勝ち負け関係なく感動的な姿だなということを改めて感じています。

来月は上旬にプール開きがあり、ますます子どもたちの素敵な笑顔が増えていくことと思います。今後とも本校の教育活動にご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。